

令和3年度 難病支援従事者研修会

- 1 目 的 難病患者支援従事者が難病に関する理解を深め、難病患者のQOLの向上に資する
- 2 今年度目標 新型コロナウイルス感染症の発生による状況下の中で、自宅療養の難病・家族を支援している訪問看護及び在宅療養に携わる看護職に焦点をあて、コロナ禍における在宅療養支援・訪問看護の重要性、新たな役割等について考える。
- 3 実施機関 大分県難病医療連絡協議会
大分県難病相談・支援センター
- 4 日 時 令和3年11月6日(土) 13:30～15:30
- 5 研修方法 オンライン形式 Zoom開催
- 6 対 象 県内訪問看護ステーション等難病患者を支援する看護職
〔 訪問看護ステーション、難病患者医療拠点・協力病院
保健所 等 〕
- 7 内 容
 - (1) 説明「大分県難病相談・支援センターについて」
大分県難病相談・支援センター 難病相談支援員
 - (2) 実践報告「コロナ禍における難病患者の訪問看護実践活動」
報告者 訪問看護ステーションメイプル
管理者 松本 和美氏
 - (3) 講話「コロナ禍の中で在宅療養を支える看護職の役割
～実践を通して見えてきたもの～」
講 師 けいわ訪問看護ステーション大分
訪問看護認定看護師 佐々木 真理子氏
 - (4) 質疑応答・意見交換
- 8 そ の 他 新型コロナウイルス感染症の発生状況を鑑みて、開催内容等について変更する場合あり。